

テーマ：自然（秋）

0歳児クラス 6名 20分

活動 まつぼくり遊び

- ・秋の自然物に触れ、感触遊びを楽しみながら季節を感じる
- ・自然物を使って見立て遊びを楽しむ

準備したもの 松ぼっくり、ブルーシート、砂場玩具

○活動内容

たくさんの松ぼっくりに触れて、感触を楽しむ。また、遊びの変化を加えて砂場玩具を出して見立て遊びを楽しむ。

○保育者の問いかけやアプローチ

歌絵本「まつぼっくり」が好きで歌ったり、散歩先で見つけることがあったので、松ぼっくりをたくさん用意した。素材そのものの感触を楽しめるように、子どもたちと一緒に触って遊んだ。「ぱりぱりとれるね」と声を掛けながらむしってみたり、握ったり、投げてみたりして手のひら全体での感触を楽しめるよう促した。

砂遊びを始めた子の近くに松ぼっくりを置くと、お皿の上にのせてままごと遊びに発展した。「おいしそうだね」「まつぼっくりごはんだね」と声掛けをしながら一緒に遊んだ。

○子どもの様子

たくさんの松ぼっくりに興味を示し、保育者の声掛けに「ん！」「あった」と言いながら指さしをしていた。触ることに抵抗は見られず、触れていた。両手でつかめるだけ掴んだり、手のひらでぎゅっと握りしめたり、保育者の姿を見て真似してむしったり、投げてみたり、足で踏んでみたり、たくさんの五感を刺激しながら楽しんでいた。砂遊びを保育者と一緒にしながら、松ぼっくりも素材として使って遊んでいた。



振り返り

季節を感じることもできて、感触遊びにもなり、見立て遊びにもなり、遊びの発展や子供たちのいろいろな反応を見ることができた。少ない数ではなくたくさん用意することでいろいろな遊びにつながったのだと思う。たくさんの五感を刺激することができて良かった。